

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入し公園の草取り、盆踊り、もちつき大会に参加している。近隣の方からの差し入れがあったり、近くのスーパーには毎日買い物に出かけ、顔馴染みになっている。傾聴ボランティアを受け入れ、職員が市民を対象とした講習会の講師をしている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	年2回開催しており、地域から自治会長、町内会長、老人会長等5名の参加がある。会議では外部評価やホームの状況を報告している。メンバーから地域の活動への参加や会議開催日について意見があり、改善に向け取り組んでいる。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	区の介護保険課の担当者とは空き情報の確認や困難事例の件で日常的に情報交換をしている。職員が認知症介護指導者研修を修了しており、市の介護指導課と定期的な交流がある。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	意見箱を設置している。家族と何でも言いやすい関係を築いて意見を聞いている。外部評価の家族アンケートの意見について管理者と職員が話し合い、改善に取り組んだ。毎月の「あじさい便り」でホームの様子を伝えている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近隣の方が犬の散歩で立ち寄ってくれたり、近くのスーパーとは顔馴染みの関係であり、地域行事への参加、消防団等地域との交流に積極的に取り組んでいる。運営推進会議は年2回開催し、地域から自治会長、町内会長、老人会長など5名の参加がある。メンバーから地域の活動への参加や会議開催日について意見があり、改善に取り組んでいる。区の担当者とは日常的に情報交換をしている。家族と何でも言いやすい関係を築いて直接意見を聞いている。外部評価の家族アンケートの意見について管理者と職員が話し合い、改善に取り組んだ。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。